

インド太平洋経済枠組みの立上げ
岸田総理大臣による挨拶
(令和4年5月23日)

バイデン米国大統領閣下
御出席の皆様、

1 はじめに

本日、日本において、バイデン大統領が提唱するインド太平洋経済枠組み(^{アイペフ} I P E F : Indo-Pacific Economic Framework) が立ち上げられることを心から歓迎し、強く支持します。

2 「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて

インド太平洋地域は、世界の人口の半数とGDPの約6割を擁し、世界の成長と活力の原動力です。

日本は、「自由で開かれたインド太平洋 (FOIP)」の実現を目指し、これまで①基本的価値・原則の定着・強化、②経済的繁栄の追求、③平和と安定の確保の3つの柱を中心に据え、米国や地域のパートナーと協力しながら、地域の安定的な繁栄に貢献してきました。

今般、バイデン大統領がこの地域を訪問し、ここ日本で自らIPEFの立上げを宣言されたことは、この地域への米国の強いコミットメントを明確に示すものです。バイデン大統領の力強いリーダーシップを高く評価します。日本は、IPEFに参加し、米国と緊密に連携し、また、ASEAN諸国を始めとする地域のパートナーと手を携えて、新たな枠組み作りに協力して参ります。

3 実体的なメリットの実現に向けて

I P E Fが地域の経済秩序にとって有意義な枠組みとなるためには、参加する各国が必要としている分野で、できるものから早期に具体的な成果を出していくことが重要です。I P E Fがサプライチェーン強靱化、脱炭素・クリーンエネルギー、デジタル経済といった項目を取り上げることは、現下の国際情勢に照らして、誠に時宜にかなっています。

こうした分野の協力において民間セクターとも連携していくことが重要です。デジタル貿易に関するものをはじめ、地域で共通のルールやスタンダードを作り、透明性と予見可能性を向上させていくと共に、人材育成や技術支援などの協力も盛り込み、協力とルールのバランスが取れた枠組みを関係国で共に考え、創っていきましょう。

4 結語

今後、地域のダイナミズムの源泉であるA S E A Nが、I P E Fにおいても中核的な役割を果たすことが重要だと考えています。日本は、A S E A Nの一体性と中心性を尊重し、米国や本日御参加の他のパートナー諸国と協力して、積極的に議論に参加していきます。米国のインド太平洋戦略、日本のF O I P、そしてA S E A Nのインド太平洋に関するA S E A Nアウトック（A O I P）、インドのアクト・イースト政策など、各国が地域で推進するイニシアティブと知恵を持ち寄って、共により繁栄したインド太平洋地域を作っていきたいと思います。

そして、本枠組みは立上げ後も新しいパートナーの参加に開かれている、包摂的で開放的な枠組みです。これからもより多くのパートナー国がI P E Fの議論に加わってくことを大いに歓迎します。

I P E Fを通じて、これからのインド太平洋の持続可能な成長、平和と繁栄を実現するための経済秩序を皆で創り上げていきましょう。地域の多くのパートナーと協力する機会を心から楽しみにしています。

御清聴ありがとうございました。